

民主化闘争情報

No. 938

2016年1月14日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

昨年12月に自動車支部で組織拡大を果たしたばかりのJR北海道労働組合（JR北労組）であるが、1月6日付でまたもや自動車支部において、スタッフ社員の仲間を迎え入れた。また、昨日（1月13日）には、貨物鉄産労からも東海地区本部で日貨労から組織拡大したとの一報が入り、民主化闘争の完遂にむけて幸先の良い新年のスタートを切った。

JR北労組・貨物鉄産労で組織拡大続く 民主化闘争完遂へ幸先良いスタート切る！

JR北労組は自動車支部でスタッフ社員を迎え入れる！

JR北労組で組織拡大を果たしたのは、自動車支部の手稲分会。背景としてJR北労組は「『職場で働く仲間同士の付き合いで社員間の親睦を図ることは、業務をしつかり行い、安全を確保するうえでも大切なこと』を合い言葉に加入の呼びかけをしてきた成果」と今回の加入の意義を強調した。そのうえで、JR北労組運動に理解を示し、加入に至ったことに対する最大限の敬意を表している。JR北労組による組織拡大は、7月の定期大会以降で5人目となっており、これから北海道地区における民主化の流れが一気に加速しそうだ。

検修業務に従事する29歳の仲間が貨物鉄産労に加入！

貨物鉄産労によると、1月13日、東海地区本部から「愛知機関区稲沢派出に勤務する29歳の青年が日貨労を脱退し、貨物鉄産労に加入した」との連絡が入ったそうだ。今回の加入に対して貨物鉄産労は「昨年の北海道で加入いただいた仲間同様、心から歓迎する」とのコメントを発している。また、良識ある日貨労組合員に対して、労働組合の選択や加入・脱退は個人の自由であり、「貨物鉄産労に加入して、自由な空気の中で伸び伸びとした時間を過ごそう」と更なる加入を呼びかけている。

JR連合は、加入した仲間を全国81,000人の仲間全体で心から歓迎するとともに、改めてJR北労組及び貨物鉄産労の各級機関・関係者の取り組みに対して、最大限の敬意を表するものである。

民主化完遂と安全確立、政策課題の実現にむけて、JR連合に結集しよう！